

新協議会発足 二次交通は新たな運行形態へ

奥津軽いまべつ駅
～津軽中里駅間



関係者らに見送られるあらま号



運行事業者へ協議会から要望書

北海道新幹線の奥津軽いまべつ駅からの二次交通として運行してきた路線バス「あらま号」は、9月30日にラストランを迎え、最終便が到着する津軽中里駅前、関係者らに迎えられてセレモニーが行われました。セレモニーでは、乗客へ記念品が贈られ、また接続する津軽鉄道でお馴染みの津軽半島観光アテンダントの坂本清雪さんから運転手へ花束が贈られました。ラストランの運転手は「新幹線で訪れた県外客が多く、中でも道案内のために地図を描いたことが印象深い」と思いを馳せました。

また、「あらま号」を運行してきた関係自治体などでつくる協議会は、9月11日(金)に中泊町役場で開かれた会議で、同路線の予約制乗り合いタクシーを11月1日(日)から運行することを決定しました。運行する事業者は中泊町の中里タクシーと奥津軽観光に決定し、運行に関する要望書を手渡しました。

予約は、利用希望日前日17時までに道の駅いまべつ「半島ぶらざアスクル」で受け付けます。また運行時間は6時から23時までとなっており、停車する新幹線全便に対応が可能となっています。お問い合わせは、奥津軽いまべつ駅二次交通対策協議会事務局(今別町企画財政課内・☎0174-35-3012)まで。

響きわたるジャズセッション

駅ナカでコンサート

弘前市のNPO法人ジャズネットワークのジャズコンボ「ひやっこくすいぞくかん百石粋族館」が、9月19日(土)の夜、駅ナカにぎわい空間でジャズコンサート「ブルーベリー・ジャム・セッション」を開催しました。

同法人では津軽地方でジャズの生演奏を聴く機会が少ないことから各地で演奏しています。今回もジャズを身近に感じてもらえるようにと思い企画が実現しました。

トランペット奏者で企画者の河野一秀さんは予想を上回る観客を前に「うれしい。堅苦しいと思わず気軽に来てほしい」と話しました。

観客たちはアルコール飲料や軽食を手にしながらか、奏者の「掛け合い」など生演奏ならではの空間に魅了されていました。



生のセッションは格別!

乗って応援!!

令和2年度 目標乗車人数	300,000人
令和2年4月から 8月までの乗車人数	63,453人
目標まであと……	236,547人

津
軽
鉄
道

